

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年8月分)

1. 調査実施期間 平成24年 7月20日 ～8月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

8月分の回答企業数は33社、回収率は84.6%である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/8月	24/9月	24/10月
仕入動向	国産材	-20.0	-6.3	-4.2
	外材	-27.4	-5.0	-5.0
販売動向	国産材	-24.0	0.0	0.0
	外材	-29.0	-1.7	-3.3
在庫動向	国産材	-10.0	-12.5	-4.2
	外材	-15.5	-7.1	-10.7

仕入れは盆休み、先行き不透明感もあり、国産材、外材とも8月は大きなマイナス、10月に向け好転し、小さなマイナスに。  
販売は、盆休みもあって国産材、外材とも8月は大きなマイナス、10月に向け、ゼロ、ないし小さなマイナスに。  
在庫は、先行き不透明で、国産材、外材ともはマイナス基調で推移するも、10月に向けマイナス幅縮小。

## (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	24/8月	24/9月	24/10月
スギ正角(グリーン)	0.0	-3.1	-3.1
スギ正角(KD)	0.0	-2.9	-2.9
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-6.3	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-3.1	0.0	0.0
米マツ平角	-2.9	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-16.7	-2.8	-2.9
ホワイトウッド集成管柱	-8.8	5.9	8.8
レッドウッド集成平角	-3.3	3.3	10.0
型枠合板(輸入)	3.1	12.5	10.0
針葉樹構造用合板	3.1	21.9	13.3
針葉樹構造用合板(厚物)	-3.1	15.6	6.7

スギ正角(グリーン)、スギ正角(KD)は保合から10月に向けやや弱保合に、ヒノキ正角、ヒノキ土台は横ばいで推移。  
米ツガ正角(現地挽)、米ツガ割物(現地挽)はともやや弱保合、米ツガ土台は保合が10月に向け全て保合に。  
米マツ平角は、やや弱保合ないし保合で推移。  
北洋アカマツタルキは、8月は弱いが、10月に向けやや弱保合に。  
WW集成管柱、RW集成平角とも弱いが、10月に向けやや強保合に。  
合板は、構造用(厚物)は、やや弱いが、輸入合板及び構造用合板は保合、10月に向けて、全てやや強保合に。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太では米国7月積み輸出価格は若干下げの様子。カナダ物もオールドの出材は伸びず、セコグロは弱含み、オールド強含みと変わらず。白系役物丸太はアラスカの新材入荷が始まったもののボリュームは昨年比減少の予想。(東京：米材問屋)来月までまとまった入荷はなし。出材の最盛期であるが山火事防止の入山禁止で少なくなっている。(東京：米材問屋)8月は盆休みがあり荷動き落ちると思われ、仕入れは抑える。(東京：集成材等問屋)底入れではあるが、上昇する気配もない。(東京：外材問屋)</p> <p>プレカット工場の受注は、やや増も本来の量になっていない。8月連休後の受注はますます。(東海：外材問屋)入荷は順調。現地価格は弱含みで、値下げさせるにはいいタイミングになっている。(東京：南洋・中国材問屋)需要不振で現地工場のオファーは増えた。(東京：南洋・中国材問屋)産地は断食月で生産量は少ない。原木の出材は順調。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>スギ柱角良材が相変わらず不足気味。(東京：国産材問屋)動き悪いので仕入れは必要な物以外は買わない状況。良材については積極的に仕入れている。(東京：国産材問屋)</p> <p>良い状態を保っている。(東京：仲買・小売)積極的な仕入れはせず。(東京：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太は、京浜マーケットでは引き続き丸太消費量が安定したことから販売済み・問屋預かり丸太が多く見受けられる。スプルス等役物丸太は入荷後即完売状態が続いている。(東京：米材問屋)有れば売れるが、売り物なし。(東京：米材問屋)8月は通常売り上げ落ちるので減少すると思う。(東京：集成材等問屋)夏休み明けを期待したいが、今年は無理か。(東京：外材問屋)荷動きが好くないので価格は横ばいか少々弱含み。(東海：外材問屋)WW仕入れは上がったが荷動き悪いので値上げしづらい状況。(東海：外材問屋)夏の荷動きは悪そうな予感。(東京：広葉樹等問屋)</p> <p>盆明け前の急ぎの仕事が多いが、価格面では相変わらず厳しい。(東京：南洋・中国材問屋)見積は多いが、成約には至らない。集成材は価格がこなれてきたので動きは悪くない。(東京：南洋・中国材問屋)小口の注文のみ。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>枹材の動きは良い。(東京：国産材問屋)国産材役物の動きは予想以上に悪い。(東京：国産材問屋)1年ぶりに天竜材指定の一棟分の構造材の注文が入った。(東京：国産材問屋)</p> <p>売り上げが今年に入って前年の平均売り上げの少し低めで固定化、なぜか大きな変動がない。新築が減り、リフォームが多いせい。(東京：仲買・小売)学校関係の仕事で上向いたが、全体として低調。(東京：仲買・小売)盆休み前にして忙しい動きを利益度外視で強いられる。リフォーム部好調続く。(東京：仲買・小売)8月に入ると毎年どうしても荷動きが悪くなる。(東海：仲買・小売)</p> <p>8月はお盆明けより木造住宅現場があり、少し忙しくなりそう。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>米マツ一般材丸太では、不良在庫は見当たらず入出荷のバランスは取れている。(東京：米材問屋)在庫は皆無。(東京：米材問屋)在庫は7月並か。(東京：集成材等問屋)</p> <p>入荷するも相変わらず欠品する物もある。(東京：南洋・中国材問屋)出荷よりも入荷が上まわっており、在庫は増えている。(東京：南洋・中国材問屋)当社の在庫は適正。15号地在庫は過大。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>市場の中の在庫が減っている。入荷しないようだ。(東京：仲買・小売)</p>

2. 価格動向	
スギ正角	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海：外材問屋) 価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
米ツガ	<p>変化なし。(東海：外材問屋) 価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>都心部では平角は日を追って売れ行きが悪くなっている。(東京：外材問屋) メーカーのコメントは、「中京地区は、他と比べ売り上げが伸びない」とのこと。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
北洋アカマツタルキ	<p>横ばい。(東海：外材問屋) 満州里 SA グレード下げ。(東京：仲買・小売)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>今が底値か、需要次第で値は上がると思う。(東京：集成材等問屋) ユーロ安と売れ行き不振が重なり安価圏で推移している。(東京：外材問屋)</p> <p>価格は底値になっていると思う。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>針葉樹は横ばい。(東海：外材問屋)</p> <p>輸入合板がやや上昇したせいで針葉樹合板も下げ止まった感じ。両者ともこのまま上昇するか否かは需要次第。(東京：仲買・小売) 9mm、12mm は下げ止まったと思われる。厚物・長尺物は一部でまだ下がっている。反発の具合は不明。(東京：仲買・小売)</p> <p>価格は少し上がると見通す。(大阪：仲買・小売)</p>